

みどりの風

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

鬼（おに）の話

鬼の話の前に…。北海道は今年、大変な雪に見舞われています。また年に数回は-30度を超えるところもあります。私も子どもの頃（数十年前）、朝起きたら吐く息が布団を凍らせていたこともありました。金魚の水槽の水が凍っていたこともありました。-30度近くなると鼻の中に氷ができるような感覚になります。これ、みんな、本当の話です。

さて、2月6日の全校朝会では次のような話をしようと思います。



2月3日は「節分」でしたね。この時期は、各地で「鬼（おに）」の話題が出ます。学校でも、自分の悪いおにを追い出そうといった取組を行うところもあります。おにといえば、「おにのパンツ」が結構有名ですね。

今日のテーマは「おに」です。鬼は、どんなイメージですか。悪者とか、こわい存在とか、節分（豆まき）、昔話（桃太郎）や妖怪ウオッチにも出てくるとか…。節分って季節の変わり目のこと。2月4日は「立春」。その前の2月3日を季節の分かれ目という意味で「節分」と言ったのです。だから、実は4回の節分があって、今はこの冬の「節分」だけが残っているみたい。昔の人は、冬の季節の変わり目（節分）に病気や災い（鬼）がやってくると考えた。だから、この日に、おにに向かって豆（炒った大豆）をまくようになったのです。豆は、魔（ま）を滅（めつ）する意味もある。豆はその辺から芽が出ないように炒った豆を使いました。また豆は、自分の年より1つ多く食べるといいと言われています。ではこの日に込めた昔の人の思いって何だったのでしょうか。

節分やおにのことを調べていたら、「おにのパンツ」の歌に出会いました。懐かしい。これは、元々イタリアの「フニクリ・フニクラ」という歌の曲に、昔の歌のお兄さんが歌詞を付けたと言われています。驚きなのは、二番や三番の歌詞もあること。特に二番の歌詞には、しなやか（なパンツ）が出てくる。三番には、ダメなパンツは弱いぞって出てくる。面白いね。歌っていると、なんだか元気が出てきて笑顔になる。今年は一番だけ、みんなで歌ってみましょう。伴奏の酒井先生、協力願います。（みんなで歌う）

おにのパンツは いいばんつ つよいぞ つよいぞ
とらの毛皮で できている つよいぞ つよいぞ
5年はいても やぶれない つよいぞ つよいぞ
10年はいても やぶれない つよいぞ つよいぞ
はこう はこう おにのパンツ
はこう はこう おにのパンツ
あなたも わたしも あなたも わたしも
みんなではこう おにのパンツ
(地域によって若干の歌詞の違いがあります)

今回、節分や鬼、「おにのパンツ」のことを調べてみて感じたのは、「豆」や「つよいぞ」って

いうところから、身体もたくましく大人まで無事に育ってほしいこと。「しなやか」ってことから、柔軟でしなやかなやさしい心を育ててほしいことです。これから雪もまだまだ降るでしょう。なまけ心やインフルエンザも近づいてくるかもしれません。そんな時は、この節分（豆）の話や「おにのパンツ」の歌詞を思い出して、時にはこの歌をうたって笑顔になって、身体を動かし、手洗いうがいもしっかりやって、弱い気持ちや病気も吹き飛ばしちゃいましょう！！みんな、よろしく頼みます。今日もしっかり聞いてくれてありがとう。

いいおにもたくさんいるんじゃないよ。わしといっしょに、心優しいおにが出てくる昔話や絵本を探してみよう！『おにたのぼうし』もあったなあ。

